

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
安堵町	安堵小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本事業の前身である学校・地域連携事業の時代から、多彩な知識・経験や技術を持っておられる地域の方々に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の様々な教育活動にご支援ご協力を得てきた。しかしながら、それぞれの連携が学年単位での支援にとどまっている場合も多く、連続性や継続性についても整理しパートナーシップ事業のねらいである参画・協働型の関係づくりをめざした。

2 特徴的な取組の概要

創設以来、約20年にわたって学校と関わりを持ってきたおはなしサークル「ねこじゃらし」と学校との交流行事について積極的にコミュニティ会議をもって、意義を再確認し、目的意識を共有することから計画を進めた。朝学習での「お話配達」については、本校の国語教材との関連を考慮し「本」を選定し事前に学級担任へ連絡していただき、事前事後指導を充実させることができた。5・6年生対象に行った「冬のコンサート」や2・3年生対象に行った「お話会」については、年度当初に学校とサークルの代表、事務局がいっしょに協議し、昨年度の反省をもとに実施時間や内容についても改めて整理して実施した。毎回の巧みな読み聞かせに児童はお話の世界に入り込み、読書への関心が高まっている。

また、3年生の「観光ボランティア」との郷土学習でも、重要文化財中家住宅の見学と筍掘り体験学習に向けて事前のコミュニティ会議をもち、これまでの経緯や目的・意義を再確認しながら行事を進めることができた。火の入ったかまどの様子を見学したり、筍掘りをしたり貴重な体験をすることができた。

(筍掘り体験の様子)



(お話会の様子)

